

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	225	3年	前期	看護学科	必修	母性看護方法論Ⅱ Maternity Nursing Methods II	30	1
担当教員								
中越 利佳	瀧本 千紗	井上 明子		赤穂 静香*				
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>周産期にある対象者を全人的に捉え、看護を実践するために必要な基礎的知識と技術について理解する。</p> <p>正常経過をたどる妊産褥婦・新生児の事例からウエルネス看護過程の展開方法について理解する。</p> <p>周産期にある対象者への切れ目ない支援の実際について理解する。</p>								
到達目標（授業目標）								
<ol style="list-style-type: none"> 母性看護を実践するために必要な基礎的知識と技術を習得することができる。 事例をもとに対象者をウエルネスの視点でとらえ、看護過程の展開方法を理解することができる。 妊娠期からの育児期までの切れ目ない支援の実際について理解することができる。 ハイリスク妊産褥婦の看護の実際について理解することができる。 在日外国人妊婦の支援について理解することができる。 災害時の母子支援について理解することができる。 								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	母性看護過程の考え方：オリエンテーション、ウエルネス看護過程の考え方 [中越・瀧本]							
2回	母性看護過程の考え方：妊娠期事例の看護過程の展開 [中越・瀧本]							
3回	母性看護過程の考え方：分娩期の看護過程の考え方 [中越・瀧本]							
4回	母性看護過程の考え方：分娩期の看護過程の展開 [中越・瀧本]							

5回	母性看護過程の考え方：産褥期・新生児期の看護過程の展開 [中越・瀧本]
6回	母性看護過程の考え方：産褥期・新生児期の看護過程の展開 [中越・瀧本]
7回	看護技術 演習：妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護技術 演習 [中越・瀧本・井上]
8回	看護技術 演習：妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護技術 演習 [中越・瀧本・井上]
9回	看護技術 演習：妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護技術 演習 [中越・瀧本・井上]
10回	看護技術 演習：妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護技術 演習 [中越・瀧本・井上]
11回	施設における母乳育児支援：Baby Friendly Hospital の看護実践 [赤穂]
12回	育児期の看護：施設退院後の育児期の看護の実際と虐待予防 [中越]
13回	周産期にある対象者の正常からの逸脱と看護の実際：ハイリスク妊婦の看護 [瀧本]
14回	周産期にある対象者の正常からの逸脱と看護の実際：ハイリスク産婦・褥婦の看護 [瀧本]
15回	在日外国人妊婦の支援、災害時の母子支援の実際 まとめ [中越]
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

課題提出（80%）、レスポンスシートの記載内容（20%）の評価とする。トータル60点以上を合格とする。

教科書	1. 森恵美・高橋真理・工藤美子「系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学②」（医学書院） 2. 横尾京子・中込さと子「ナースング・グラフィカ 母性看護学③母性看護技術」（メディカ出版） 3. 太田操「ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程」（医歯薬出版）
参考図書等	井上裕美・竹内正人「病気がみえる10 産科」（メディックメディア）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

看護過程の演習では一部、授業時間外学習となる。

関連科目

前科目	158	臨床病態学Ⅲ	223	母性看護対象論	224	母性看護方法論Ⅰ				
後科目	241	看護アセスメントⅡ	226	母性看護学実習						

実務家教員

助産師（医療機関）	中越 利佳	瀧本 千紗	井上 明子	赤穂 静香*				

備考	母性看護におけるウエルネスの考え方が理解できるように積極的に学習に取り組むことを期待する。母性看護方法論Ⅰの講義内容の復習をして本講義に臨むこと。
----	---